







恋でも
してんの？

なつ…

おおつ
その反応は
図星？

恋するとね
綺麗になんのよ

なんで恋…!?

ごめんごめん
私たち
応援して
からねーっ

ちょ、おい
勝手に詮索
すんなよっ

普通なにげ
可愛い子
多いもんねー

年上？年下？
もしかして
このクラスに属るの？

てーとで
どんな人？

あんなんだ
あいつら…









けど、
俺が片思い
してるのは…

キャプテンで
正捕手で
先輩で

金丸もほんと
真面目なやつ
だよなら

男の!!

この
御幸一也
なんだよっ!!

本
し
か
も
に

…何で俺の超個人的な
恋愛事情まで
先輩に把握されなきゃ
いけないんすかね…

お前が変な女に
取つ捕まつてないか
心配なんだろ

なんこと
ねえですか?!







その日が何時
うざいく感じに
先輩に付いて歩いた

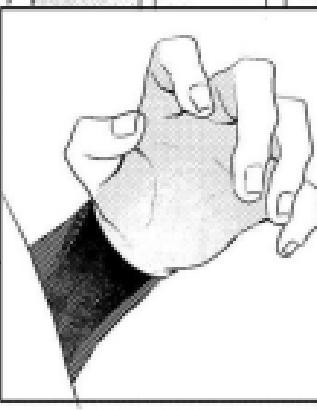




小ことには
やがてみる？









俺みたいに
なるつて



ちやんと
ストレッチして
寝るよー

これじゃ
どこまで許されるのか
どんどん試したくな
なっちゃまう…

先輩…
俺が抱き締いても
嫌がんねーのな



先輩と一緒に居たいだけの
俺にも構ってくれる

キャブアンになつて
今まで以上に多忙なのに
ちゃんと俺ら投手陣の面倒も
見ててくれるし

イヤな顔どころか
最近はよく笑つてくれるし…
妻に期待しちまう



大好きな野球で、
大好きな先輩との
バツテリー

もしかしたら
今が一番
幸せなのかも
しれない



だから、
大事にしなきゃ
いけないんだ

毎日の中でも
先輩と一緒に居られる
ほんの僅かな時間を

たとえこの恋が
実らなくても

一方通行でも



後悔だけは
したくない

先輩は俺より先に
青道から居なくなつて
しまうから



このドアを
開けたら





先輩はもう
居なくて





どうしたんだよ
俺の部屋の前で
突つ立つて



夏が終わったら、
御幸先輩の居ない生活が
始まることなんて



今はまだ
考えたくなかった



俺はまだ
先輩離れるする
覚悟が出来て
いません



いつの間にか
野球に必要なない
感情まで芽生えてしまつた

それだけのはず
だつたのに

はじめはあのミットに憧れて
先輩に認められたくて
ナイスボールが聞きたくて

先輩……
ごめんなさい

ふわふわ
あつたかくて
いい匂い…

なんだこれ…

さ…さ…

さわむら

沢村

ほ
一





ささみで叫んでいたや

うやつ!

…まあ俺も
離れる気
ねーし

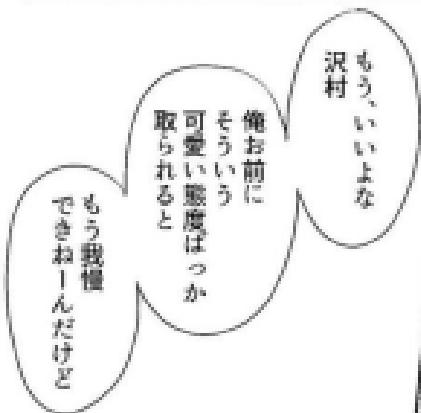
もう、いいよな
沢村

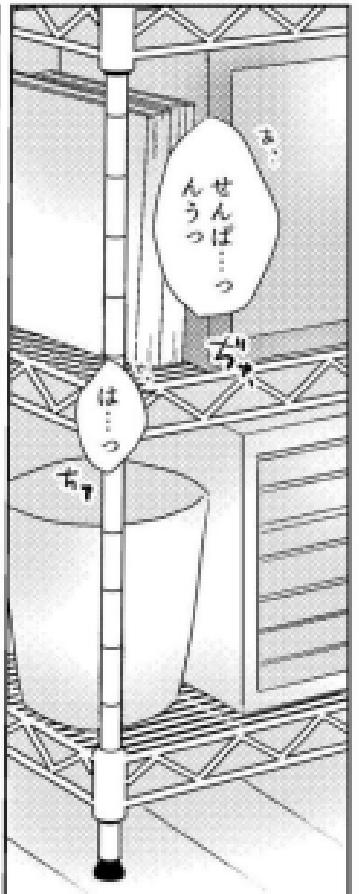
もう我慢
できねーんだよ

御幸…

先輩?

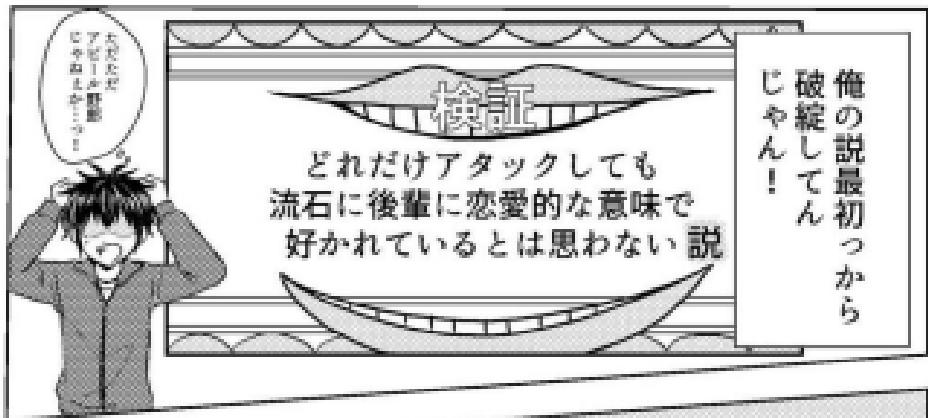
せんぱい











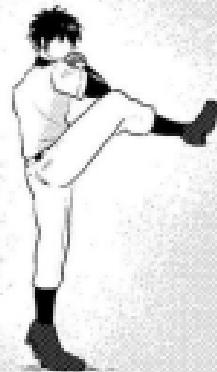




ス ハ
バ ツ
一 コ
ク イ
ル

俺は
臆病なだけなんだ

最初から
だったと思う



あの日から
ずっと面積されてきた想いに
見て見ぬふりをし続けた

最後の夏

黒同士

先輩後輩

超えるべきペーパーが
幾重にも重なって
見えた

なんとなくだが
あいつもそうなんじや
ないかって、

114

気づいて
いながらも

はあ、

苦々呑むを
する気にな
らなかつた

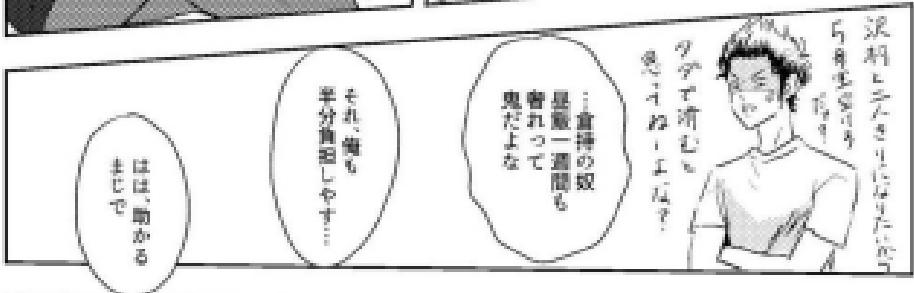
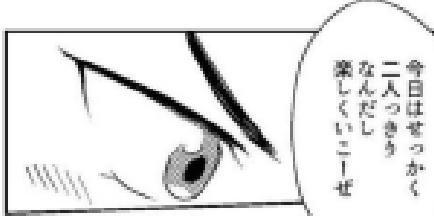
このままのほうが
直いのためだ
気の速いで
終わるかもしれない











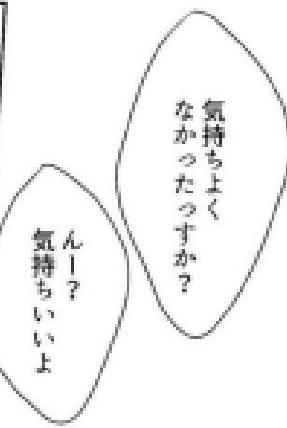


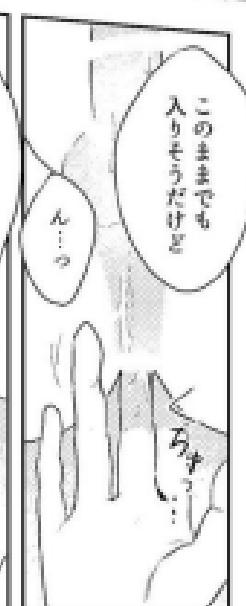
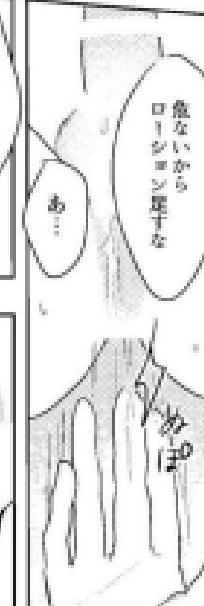
























青島



END *